

ふくしまからのメッセージ

福島民報社の「ふくしまからのメッセージ」コンクール・中学生部門で、根本翼さん（白二中3年）が優秀賞に選ばれました。

7月2日には市役所を訪れ、鈴木市長に受賞の報告を行いました。根本さんのメッセージには、自身が体験した「風評」の現実と力強い信念が込められています。

ここでは、福島民報に掲載された、そのメッセージの全文を紹介いたします。

「今、伝えたいこと」

「原発帰れ」

突然浴びせられた言葉に思わず体が硬くなり、その場に立ちつくしてしまいました。

「いいか！おまえたち、あんな言葉気にするな！」

顧問の先生が奥歯をかみしめ冷静に言った。しかし、先生の手が震えているのを見た。

それは、部活の練習試合で関東地方に行った時の出来事だ。その時、これが「風評被害」というものか、福島県全域が丸ごと放射能汚染と映っているのかと実感した。

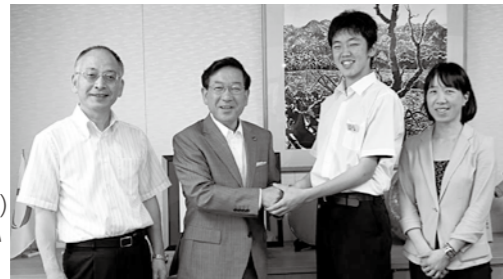
僕たちが住み、僕たちの中学校がある県南の白河市は東日本大震災で、浜通り地方のような津波の被害はなかったが、地震の被害はたくさんあった。そして今も、数値は下がったものの放射能という不安をかかえながら生活している。

僕はこんな言葉を浴びながらも不思議と怒りの感情はほとんどなかった。なぜだろう。それは、きっと両親、学校の先生方、地域の人たち、僕たちの周囲の大人が守ってくれ、未来のことを真剣に考え対応してくれているという「安心」があり、福島全体が復興に向かってみんな頑張っているんだという「自信」があったからだ。

僕はある日、家族と一緒に白河市の広報紙を見てから、毎回最後のページの白河市長の意見文を読むようになった。その中に、「何より大事なものは希望。希望は降ってくるものではなく生み出す努力が必要だ」とあった。僕もその通りだと思った。明るい未来は待っているものではなく進んでいくものだと思う。

僕は今、中学生で、震災の復興に向けて具体的なことはできないかもしれない。けれど、今の自分にできることを一つずつしていきたいと思っている。僕は将来この福島で教師となり、東日本大震災で経験した僕の思いを伝えたい。だから僕は明るく元気に、ここ「ふくしま」で力強く生きていく。熱い希望を胸に。

[福島民報 6月26日]



金子英昭校長（左）
塩田真理子教諭（右）
根本翼さん（右から2番目）



◎連続掲載／未来へのたすき

3 除染関係物品の配布

住宅地は除染計画に基づき順次除染を進めていきますが、それよりも早期に、自ら除染を行う方を対象に、次の物品を無料で配布します。

※自らの除染で発生した土砂等は敷地内に保管いただき、仮置き場が設置でき次第、市が搬出します。

※除染は市が計画的に行うことになっているため、個人が業者に除染を委託した費用は、原則的に個人負担となりますのでご注意ください。

●配布物品

- ①フレキシブルコンテナバッグ（土砂等の保管用の大型土のう袋で、遮水性・強度があります）
1世帯1袋まで
- ②土のう袋
1世帯50枚まで
- ③ブルーシート
1世帯1枚まで
①～③の数量は、土地の広さ等で相談に応じます
- ④ゴーグル、マスク、ゴム手袋
世帯人数分（作業人数分）

●配布日時

8月17日（金）～31日（金）／午前9時～午後5時（平日のみ）

●配布場所

旧休日急患センター（本庁舎正門西側）、各庁舎市民福祉課

●予約電話番号

電話でお申し込みのうえ、お越しください。
本庁舎 ☎②0606 / 各庁舎 表郷 ☎②2113
大信 ☎④3974 東 ☎④2113

●配布対象

市内に土地を所有し、自ら除染を行う方

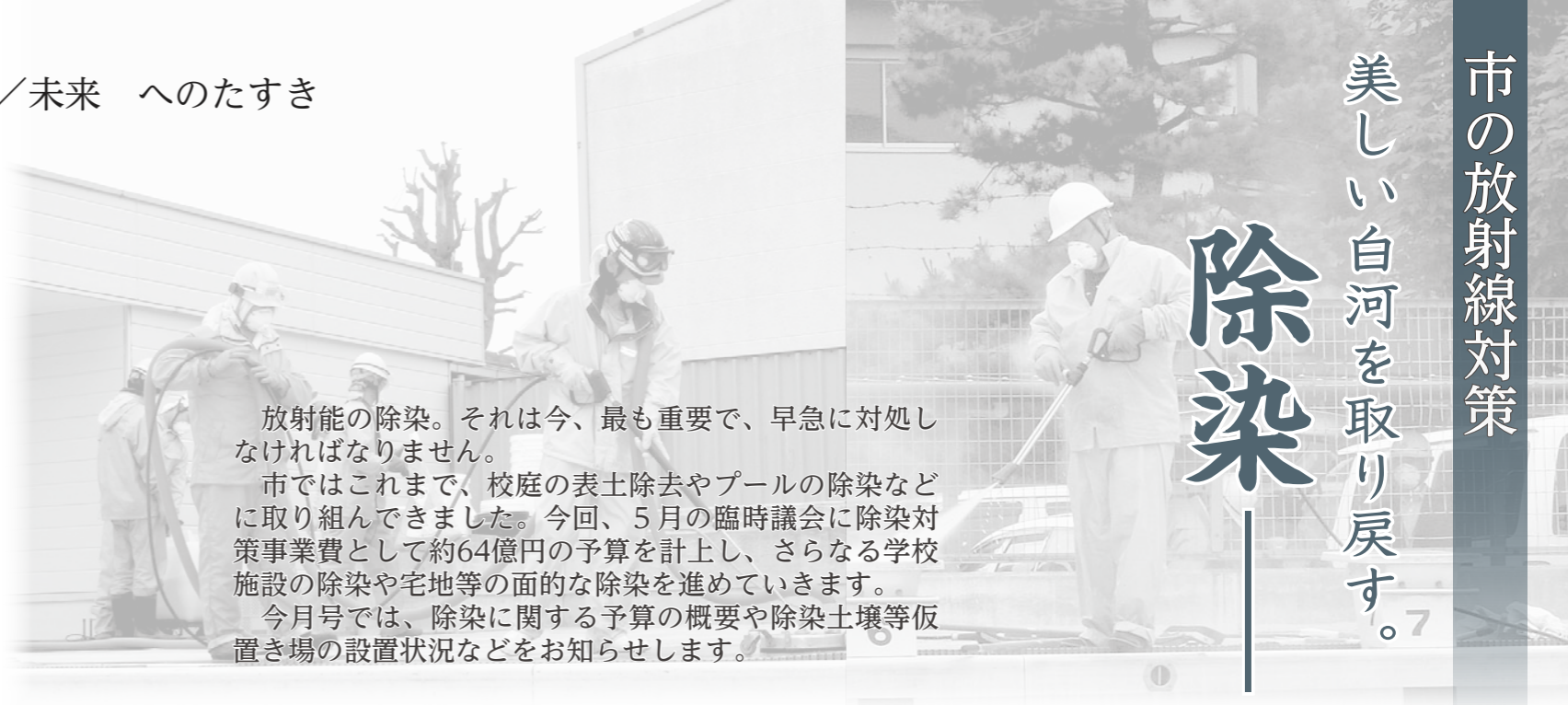
▷配布時に必要な書類

免許証などの住所を確認できるもの、除染か所および保管場所が分かる見取り図

▷配布後に必要な書類

除染実施前後の線量の測定値、除染実施後の写真

☎本庁舎放射線対策室 ☎②1111 内2188



放射能の除染。それは今、最も重要で、早急に対処しなければなりません。

市ではこれまで、校庭の表土除去やプールの除染などに取り組んできました。今回、5月の臨時議会に除染対策事業費として約64億円の予算を計上し、さらなる学校施設の除染や宅地等の面的な除染を進めていきます。

今月号では、除染に関する予算の概要や除染土壌等仮置き場の設置状況などをお知らせします。

3. 民間宅地等除染対策事業

【単位：万円】

区分	対象施設	予算額
個人住宅事業所	個人住宅の除染（大信地域全域）、除染者への支援、事業所除染など	31億3,206.7

4. 除染対策管理費等

【単位：万円】

区分	予算額
除染業務管理システム構築委託料、GMサーバイメーター購入費等、市内一斉清掃の土砂や草木の一時保管場所設置費など	1億3,639.6
合計	64億561.6

2 除染土壌等の仮置き場の状況

除染に必要な不可欠な除染土壌等の仮置き場は、白河・表郷・大信・東の各地域に設置します。

大信・表郷地域では、皆様のご協力により、仮置き場が決定しました。白河・東地域は、現在適地を選定中です。

なお、仮置き場は、その構造により放射線を遮へいするため、周辺環境へ及ぼす影響はありません。

●除染土壌等仮置き場の設置か所

- ▷大信地域 大信隈戸字午房沢地内（約2ha）
- ▷表郷地域 表郷字番沢字久ノ内地内（約0.5ha）

●供用開始予定 10月

1 「除染対策事業」予算の概要

市民の皆さんの放射線に対する不安を一日でも早く解消できるよう、「白河市除染計画」により本格的な除染を進めていきます。

除染対策事業に関する5月補正予算の概要は、次のとおりです。

1. 公共施設除染対策事業

【単位：万円】

区分	対象施設	予算額
学校施設等	保育園、幼稚園、小・中学校、児童館・児童クラブ、私立幼稚園など	20億9,072.1
公園	児童公園、農村公園、開発公園など	2億4,833.9
集会所その他	一部の集会所・消防屯所、市営住宅、スポーツ施設など	5億8,310.4
	小計	29億2,216.4

2. 農地および森林除染

【単位：万円】

区分	対象施設	予算額
農業用水路、森林	農業用水路（大信大屋地区）、森林（一部）	2億1,498.9